

店舗

カナエル神奈川西支店
神奈川県
設計：KINO architects
構造：鉄骨造
2017年7月初掲載



「建物外観を住宅街の風景と
素材レベルで連続させる」
という思いから、
住宅屋根材の主流である
「カラーベスト」を採用。

風景やコミュニティをつなぐ
企業支社兼ショールーム。

多くの人や車が行き交う国道246号の
ロードサイドで、ひときわ目をひく外観の
「カナエル神奈川西支店」。大小の住宅
を集めて大きな建物をつくったような
シルエットを持つ企業支社兼ショールーム
を設計されたのは「KINO architects」
様です。地域に密着した企業として、
お客様や近隣住民の方に親しまれる
場所にしたいとお施主様のご要望に
お応えし、民間企業の枠を超えて、地域
に根差した公共性のある建物となること
を目指されました。

“分断された風景をつなぐ”建物の
屋根材、それが「カラーベスト」。

外観の設計に当たり木下氏は、「近隣の
商業施設と住宅街の“分断された風景を
つなぐ”建物として、住宅でよく使われて
いる素材を採用したい」「素材の中でも、
建物や街並みのイメージをつくるうえで
屋根材が大きな役割を果たす」と考え、
現代の住宅屋根材の主流である「カラー
ベスト」に白羽の矢を立てました。また
「カラーベスト」は、住宅屋根材として長年
に渡って普及しており、耐候性や耐久性
等の機能面で安心感があつたことも、
採用の決め手のひとつになっています。

CBウォール工法により、
「カラーベスト」を外壁にも使用。

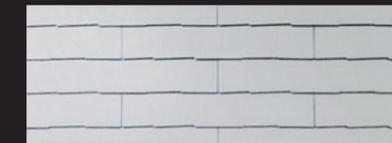
都市部の建物は、法規制により軒を
あまり出せないケースが多く、メリハリの
少ない外観になりやすい傾向にあります。
そこでカナエル神奈川西支店では「CB
ウォール工法」により、屋根だけでなく
外壁にも「カラーベスト」を使用してい
ます。シルバーホワイトの屋根材で統一
した外観は、シンプルでありながら、洗練
された力強さを感じさせるイメージに
仕上げることができ、周りの風景に調和
しながらも、埋没することなく、その存在感
を主張しています。



建築家 木下昌大氏

「最適化する建築」をコンセプトに住宅・マンション・オフィス・
病院等の設計を多数手がける。当物件にて日本建築家
協会優秀建築選2016、グッドデザイン賞2016等を受賞。

屋根材・外壁材



カラーベスト
コロニアルクアッド
シルバーホワイト



施工事例コンテストをスマホでチェック!
当施工事例の別アングルや、他の入賞
物件を多数掲載しています。